

<学校名> 加須市立大利根東小学校

<所在地> 加須市旗井807

<電話> 0480-72-3116

<本事例の特徴>

本校では、国際理解教育を進めるために、学校行事として国際交流活動を、3、4年生がABCタイムを、5、6年生は外国語活動を実施している。以下は、毎年継続している国際交流活動について紹介する。

<具体的な取組や成果>

○国際交流活動 ―世界を知って 友達になろう―

- ・日時 年2回（10月と2月）
- ・指導者 日本人講師1名、外国の方4名を招いている。
- ・ねらい 外国の方とのふれあいを通して、外国の生活や文化などに慣れ親しむ。
- ・実施内容 低・中・高学年ごとに各クラスの児童が4グループに分かれて実施する。
給食は、講師の先生に入っただき、一緒に食べる。



・児童の感想より（一部抜粋）



パラグアイの小学校では、給食がないそうだ。8時～12時と、1時～5時の半日ずつしか勉強がないのでびっくりした。テストに合格しないと次の学年には上がれなくて、下の学年に下がってしまうなんてさらに驚いた。

ロシアの主食が小麦粉。ピロシキやペリメンだそうで食べてみたい。キャビアは、高級食材なのに、毎日食べているそうなのでいいなと思った。



- ・外国の講師の方から直接話をうかがい、具体的な物を提示していただいたことで、世界には様々な国や異なる文化があることや、日本との違いを学ぶことができた。
- ・児童にとって貴重な経験になり、教師にとっても世界観が広がり、充実した時間になった。